

安全運転推進システム「Eco-SAM for BB」をサービス開始

株式会社トワード（本社：佐賀県神埼郡、代表取締役社長：友田健治、以下 トワード）は、自社開発システム（SAMシリーズ）の「Eco-SAM（エコサム）」を宅配バイク向けにリニューアルし、「Eco-SAM for BB（Business Bike）」をSAMシリーズの新たなラインナップとして2015年1月よりサービス提供致します。

宅配バイク向けの開発は、株式会社イワタダイナース・ピザクック事業本部様（本社：福岡市博多区、代表取締役社長：岩田陽男、以下 ピザクック）の全面協力のもと、宅配バイクの特性、交通事故の特徴、ドライバーの運転教育といったデリバリー業界全体の問題解決に向けた仕様となっております。ピザクック様で2週間という短期間の検証実験においても、Eco-SAM for BBによる運用後は、事故の発生確率が高い急加速・急減速が72%減少、波状運転指数も36%改善しています。これは、Eco-SAM for BBによる運転教育が非常に簡単で、ドライバーにも理解しやすい教育方法であることが実証されています。

Eco-SAMは営業車両の事故削減及び安全運転推進システムとして、トワードが2010年11月からサービス提供しております。これまで約15,000台のサービス提供実績があり、導入企業様におかれましても事故削減率平均50%超、燃費も平均20%向上という実績のあるシステムです。

一般的なドライブレコーダーは、事故発生前後の動画にて運転指導を行うという事後検証に重きを置いたツールでしかありませんが、Eco-SAMは事故発生の有無に限らず、当社の特許技術「波状運転指数」による運転指導により、未然に事故を防止するためのツールです。

また、その指導方法においてもドライブレコーダーによる運転指導は、指導者のスキルや運転のクセに左右されがちですが、Eco-SAMは「波状運転指数」の点数を下げるという非常にシンプルな指導により運転の指導基準が統一されることから、ドライブレコーダーと比較しても事故予防策として非常に高い効果があります。トワードでは、ドライブレコーダーは運転時間を点で捉えての指導、Eco-SAMは運転時間を面で捉えての指導とその違いを明確に区別しております。

【Eco-SAM ロガー端末】



【Eco-SAM for BB の取付例】



Eco-SAM for BB

株式会社トワードについて

1951 年設立。食品関連物流に特化したロジスティクス事業を展開し、1997 年には外食産業初となる三温度帯同時配送を実現。これまで、事業に関連したシステムを SAM シリーズとして自社で開発し、2007 年に運転評価方法及びシステムで特許取得（特許第 3944549 号）。また、同年に第 1 回「ハイ・サービス日本 300 選」を全国の物流会社及び九州の企業で初受賞。

株式会社トワード ホームページ：<http://www.towardls.co.jp/>

株式会社イワタダイナースについて

1990 年設立。食品卸売業の岩田産業株式会社の関連会社で、福岡市内及びその近郊・北九州を中心として、ピザ・お好み焼きの宅配店舗「ピザクック」を 29 店舗、全店直営で運営。ピザクックは“デリシャス&ヘルシー”を商品開発のコンセプトに、手作り、店舗での仕込みを基本とし、素材・調理・仕上げ・産地にこだわり、美味しさを追求するピザ宅配チェーン店です。

全日本デリバリー業安全運転協議会賛助会員としてデリバリー業界の安全運転管理強化及び交通事故の撲滅に賛同

株式会社イワタダイナース ホームページ：<http://www.pizzacooc.com/>

【プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社トワード 経営管理本部 津田／太田

TEL：0952-52-8300 FAX：0952-53-5459